



令和3年6月3日（木）
福島県観光交流局県産品振興戦略課
担当 副課長兼主任主査 佐藤 譲
電話 024-521-1167（内線2981）

伝統工芸・地場産業に若者の風を！ クリエイター育成インターンシップ受入先募集！

県では、県内外で伝統工芸・地場産業について学ぶ学生等を対象に、県内事業者とのマッチングによるインターンシップを実施します。技術交流や販売等の経験を通して、学生等と県内事業者の繋がりを作ることで後継者育成を図ります。

このたび、下記によりインターンシップの受入先を募集いたしますので、お知らせします。

記

1 申込期間

令和3年6月4日（金）～6月18日（金）必着

2 募集対象

福島県内の伝統工芸・地場産業事業者（5者程度）

3 コース区分

今年度から新たにインターンシップのコースを以下2つに分けます。

（1）採用重視型

伝統工芸・地場産業事業者への就職を希望する研修生と、採用まで考えている事業者とをマッチングします。研修前から研修後まで、双方の意思確認等を含め事務局がフォローアップを行います。

（2）体験・発信型

伝統工芸・地場産業への関心が高い研修生と事業者をマッチングします。また、研修中や研修後に、県内の工芸品や地場産業等の魅力を研修生がSNSで発信することを条件とします。

4 インターンシップ期間

令和3年8月～10月のうち受入先事業者が指定する期間とし、採用重視型は5日間以上（最大14日間まで）、体験・発信型は3～4日間を基本とします。

※1者あたり1～5名程度の受入を予定、詳細は研修生及び受入先との調整の上決定します。

※研修生の募集は7月に別途行います。

5 新型コロナウイルス感染症に係る対応

- ・研修期間中、受入先にマスク、アルコール消毒剤、ハンドソープを配布する他、体温計を貸与します。
- ・マッチング後、研修生の居住地、受入先事業者の所在地、いずれかが緊急事態宣言またはまん延防止等重点措置等（各自治体が独自に感染拡大防止のために発令する宣言を含む）の対象区域となり、発令期間が研修期間に1日でも重なる場合、当該研修は中止とします。

（その他、感染状況の拡大及び都道府県をまたぐ移動自粛要請の状況等により、研修を中止する場合があります。）

- ・研修生が発熱・体調不良・事故・怪我した場合の対応マニュアルを研修生及び受入先に配布します。

（裏面に続く）

6 申込方法

別紙「応募用紙」に必要事項を記入の上、上記申込期間内にE-mail、FAXまたは郵送にて提出

【申込書提出先（事務局）】

株式会社山川印刷所 事業部（担当：平舘（ひらたて））

住所：〒960-2153 福島市庄野字清水尻1-10

E-mail：internship-fukushima@yamakawa-p.jp

FAX：024-593-5502

※株式会社山川印刷所は当事業の委託先となります。

7 インターネットによる案内

募集要項及び応募用紙は下記ウェブサイトにも掲載されております。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32031c/>（福島県県産品振興戦略課HP）

そのほか、募集の詳細については、別添募集要項をご確認ください。

令和3年度「進化する伝統産業創生事業」

【クリエイター育成インターンシップ】 受入先募集要項

1 目的

県では、県内外で伝統工芸・地場産業について学ぶ学生等を対象に、県内事業者とのマッチングによるインターンシップを実施し、技術交流や販売等の経験を通して、クリエイターとしてのスキルアップを図ります。また、学生等と県内事業者の繋がりを作ることで、将来的な後継者育成を図ります。

2 募集対象

福島県内の伝統工芸・地場産業事業者（5者程度）

3 コース区分

今年度から新たにインターンシップのコースを以下2つに分けます。

(1) 採用重視型

伝統工芸・地場産業事業者への就職を希望する研修生と、採用まで考えている事業者とをマッチングします。研修前から研修後まで、双方の意思確認等を含め事務局がフォローアップを行います。

(2) 体験・発信型

伝統工芸・地場産業への関心が高い研修生と事業者をマッチングします。また、研修中や研修後に、県内の工芸品や地場産業等の魅力を研修生がSNSで発信することを条件とします。

4 インターンシップ期間

令和3年8月～10月のうち受入先事業者が指定する期間とし、採用重視型は5日間以上（最大14日間まで）、体験・発信型は3～4日間を基本とします。

※原則として連続した日程とします。

※詳細は研修生と受入先との調整の上決定します。

5 研修生受入条件

- ・インターンシップ期間を通して、研修生の育成に尽力すること。
- ・研修生を包括的に指導する職員を配置すること。
- ・研修生の活動にかかるスケジュールやカリキュラムを事前に県に明示すること。
- ・研修生の活動内容は、可能な限り技術交流や販売等を経験できるものとし、業務内容を理解しながら、研修生のスキルアップに繋がるものとなるよう配慮すること。
- ・研修生の活動状況を県に報告すること。
- ・インターンシップ期間終了後にアンケートに協力すること。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策（別紙）に基づき、研修生及び研修先従業員の感染防止に努めること。

6 研修生受入人数

1事業者あたり1～5名程度（予定）

7 研修生受入にかかる支援

(1) 支援金

以下について県から受入先へお支払いします。

1名あたり1日5,000円

(ただし、1事業者に支払う支援金の上限額は125,000円とします。)

※上記費用には、研修生の指導料および活動に係る経費(必要物品の購入等)が含まれます。

※研修生の旅費、宿泊費、保険料等は県および研修生本人が負担します。

(2) 新型コロナウイルス感染症にかかる支援

※感染防止対策の備品として、研修期間中のマスク、アルコール消毒剤、ハンドソープを研修先に配布します。

※体温計を研修生及び研修先に貸与します。

8 新型コロナウイルス感染症にかかる対応について

※マッチング後、研修生の居住地、受入先事業者の所在地、いずれかが緊急事態宣言またはまん延防止等重点措置等(各自治体が独自に感染拡大防止のために発令する宣言を含む)の対象区域となり、発令期間が研修期間に1日でも重なる場合、当該研修は中止とします。(その他、感染状況の拡大及び都道府県をまたぐ移動自粛要請の状況等により、研修を中止する場合があります。)

※研修生が発熱・体調不良・事故・怪我した場合のマニュアルを研修生及び研修先に配布します。

9 応募の流れ

(1) 申込期間

令和3年6月4日(金)～6月18日(金)必着

(2) 応募方法

別紙「応募用紙」に必要事項を記入の上、上記申込期間内にE-mail、FAXまたは郵送にて提出してください。(できる限りE-mailでの提出にご協力願います。)

(3) 選考

応募者多数の場合は、書面により選考を行います。

令和3年6月25日(金)までにE-mailまたはFAXにて決定通知をお送りします。

(4) 提出先(事務局)

株式会社山川印刷所 事業部(担当:平舘(ひらたて))

住所:〒960-2153 福島市庄野字清水尻1-10

E-mail:internship-fukushima@yamakawa-p.jp

FAX:024-593-5502

※株式会社山川印刷所は当事業の委託先となります。

(注1)内容に不備がある場合は受理されませんので、注意して記入してください。
(注2)締切を過ぎての提出は受け付けません。

(5) 提出書類について

- ①書類提出後、必要に応じ記載以外の追加説明資料の提出を求める事があります。
- ②提出書類や追加提出資料については返却しないのでご注意ください。

<提出書類>

受入先応募用紙

- ※ コース（採用重視型、体験・発信型）によって応募用紙が異なります。
両コースを希望する場合は、2種類の用紙提出が必要です。

10 インターネットによる案内

募集要項及び応募用紙は下記ウェブサイトにも掲載されておりますのでご利用ください。
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32031c/>（福島県県産品振興戦略課HP）

11 留意事項

- ・研修生の旅費等は県が負担しますが、受入先事業者が活動に際して旅費等を要する場合は各自負担となります。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況、天候および研修生の急病等、やむを得ない事情により、日程の延期または活動内容を変更する場合があります。

12 本事業に関する問い合わせ先

福島県県産品振興戦略課（担当：喜古）

電話 024-521-7296 FAX024-521-7888

E-mail : trade-promotion@pref.fukushima.lg.jp

令和3年度「進化する伝統産業創生事業」【クリエイター育成インターンシップ】 研修先に係る新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

1 目的

新型コロナウイルス感染症の研修生及び研修先への感染拡大を防止するため、下記のとおり防止策を策定することとし、研修先は下記策定内容の実施を参加条件とすること。

2 対策

(1) 3つの密の回避

- ・ 3つの密を同時に満たす内容の研修は行わないようにすること。
 - ①換気の悪い密閉空間
 - ②多くの人が密集
 - ③近距離での会話や発生

(2) 換気

- ・ 1時間に2回程度の換気を行うこと。

(3) ソーシャルディスタンスの徹底

- ・ 対面での会議やミーティングを行う場合は、人と人との感覚をできるだけ2メートル空け、可能な限り真正面を避けるように心がけること。
- ・ 人と人との対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること。
- ・ 人と人との間に距離をなるべく保持するようにすること。

(4) マスク着用

- ・ 研修生及び研修先職員・従業員ともにマスク着用の上、研修を行うこと。

(5) 消毒

- ・ 多数の従業員が触れることがある物品、機器等について、こまめに消毒すること。

(6) 健康状態の確認

- ・ 研修前に体温及び体調について確認すること。
- ・ 研修者が記入した様式5「体温・体調チェックシート」を研修前に確認し、管理者は押印すること。
- ・ 県から貸し出しする非接触型体温計を使用し、研修前に再度検温すること。

(7) 休憩スペース等の利用について

- ・ 一度に休憩する人数を減らし、対面で食事や会話をしないように指導すること。
- ・ 常に換気すること。
- ・ 共有する物品は、定期的に消毒をすること。
- ・ 入退室の前後に手洗いまたは手指の消毒をするように指導すること。

(8) その他

- ・ 研修生に発熱・体調不良者が現れた場合は、研修を中止とし、速やかに県に報告すること。

※発熱・体調不良・怪我・事故発生時対応マニュアルを別途配布します。

この用紙は「採用重視型」
コースの応募用紙です。

令和3年度進化する伝統産業創生事業
【クリエイター育成インターンシップ】受入先応募用紙（採用重視型）

1 申請者の概要

フリガナ		フリガナ		
会社名 (団体名)		代表者 職・氏名		
所在地	〒			
電話番号	() -	FAX 番号	() -	
電子メール アドレス	@	URL	http://	
連絡先 (上記申請者と 異なる場合に記 入してください)	フリガナ		〒	
	担当者 氏名		所在地	
	電話番号	() -	FAX 番号	() -
	電子メール アドレス	@	URL	http://
現在の業種・業務内容等		会社略歴		
会社(団体)のPR				
受入実施日(採用重視型は実質5日間以上(最大14日間)となります。)				
1 実施日(受入先事業者の負担軽減のため、基本的に1回の受入れとします。)				
①令和3年 月 日() ~ 令和3年 月 日()				
②うち休業日(月 日、 月 日)				
【実質受入 日間(①の日数から②の日数を引いたもの)】				
2 時間				
: から : まで(うち休憩 時間)				
3 会社(団体)の休業日				
()曜日、その他()				

受入可能人数 ※受入可能な最大人数を記入してください。
人
インターンシップ中の指導体制 ※指導者の人数と代表指導者の職・氏名を記入してください。
人（代表指導者の職・氏名）
受入を希望する研修生 ※該当するものに○、ご希望に添えない場合もあります。
1 技術 不問 ・ 要（具体的に：）
2 販売経験 不問 ・ 要
求める人材
今回のインターンシップのゴールをどのように考えていますか ※研修生が○○を理解するなど
マッチング前に研修申込者との事前面談（オンライン）を希望しますか ※該当するものに○ 希望なし ・ 希望あり
研修に要する準備物 ※該当するものに○ なし ・ あり（具体的に：）
インターンシップ終了後の研修生との連絡手段 ※該当するものに○ 電話 ・ メール ・ LINE ・ その他（）
ハローワーク等で貴社の求人情報を掲載していますか ※該当するものに○ なし ・ あり（掲載先：ハローワーク ・ その他（媒体名））
インターンシップ終了後、双方の意思確認が整い、雇用する場合の条件等
1 雇用時期（年 月～）
2 雇用条件（おおよその給料月額（手取り） 円 ～ 円） （勤務時間： ～：、週休日） （その他）
雇用後はどのように育成していきますか ※将来どんな職人になってほしいか、本人に期待していること

2 想定する実習スケジュール・カリキュラム（5日間以上のカリキュラムが必要です）

日程	研修内容	研修場所
(例) 1日目	(例) AM：オリエンテーション PM：職場見学	(例) 工房
1日目		
2日目		
3日目		
4日目		
5日目		
6日目		
7日目		
8日目		
9日目		
10日目		
11日目		
12日目		
13日目		
14日目		

※ 事業者の休業日を除き、最大14日間とします。

この用紙は「体験・発信型」
コースの応募用紙です。

令和3年度進化する伝統産業創生事業
【クリエイター育成インターンシップ】受入先応募用紙(体験・発信型)

1 申請者の概要

フリガナ		フリガナ		
会社名 (団体名)		代表者 職・氏名		
所在地	〒			
電話番号	() -	FAX 番号	() -	
電子メール アドレス	@	URL	http://	
連絡先 (上記申請者と 異なる場合に記 入してください)	フリガナ		〒	
	担当者 氏名		所在地	
	電話番号	() -	FAX 番号	() -
	電子メール アドレス	@	URL	http://
現在の業種・業務内容等		会社略歴		
会社(団体)のPR				
受入実施日(体験・発信型は3~4日間が基本となります。)				
1 実施日 令和3年 月 日() ~ 令和3年 月 日() ※ 休業日を挟まない3~4日間としてください。				
2 時間 : から : まで(うち休憩 時間)				
3 会社(団体)の休業日 () 曜日、その他()				

受入可能人数 ※受入可能な最大人数を記入してください。
人
インターンシップ中の指導体制 ※指導者の人数と代表指導者の職・氏名を記入してください。
人（代表指導者の職・氏名）
受入を希望する研修生 ※該当するものに○、ご希望に添えない場合もあります。
1 技術 不問 ・ 要（具体的に：）
2 販売経験 不問 ・ 要
求める人材
今回のインターンシップのゴールをどのように考えていますか ※研修生が○○を理解するなど
マッチング前に研修申込者との事前面談（オンライン）を希望しますか ※該当するものに○ 希望なし ・ 希望あり
研修に要する準備物 ※該当するものに○ なし ・ あり（具体的に：）
インターンシップ終了後の研修生との連絡手段 ※該当するものに○ 電話 ・ メール ・ LINE ・ その他（）
ハローワーク等で貴社の求人情報を掲載していますか ※該当するものに○ なし ・ あり（掲載先：ハローワーク ・ その他（媒体名））

2 想定する実習スケジュール・カリキュラム（3～4日間のカリキュラムが基本です）

日程	研修内容	研修場所
(例) 1日目	(例) AM：オリエンテーション PM：職場見学	(例) 工房
1日目		
2日目		
3日目		
4日目		

※ 行が不足する場合は、適宜追加してください。